

図書館だより

市立図書館

◆読書週間

【期間】
10月27日(火)～
11月9日(月)



【標語】
いつだって、読書日和
読書週間は、今年で69回目を迎えます。この機会に、読んでみたい1冊をぜひ図書館で見つけてください。

◆子ども司書養成講座

次世代の読書リーダーを目指す子ども司書養成講座は、平成23年度から現在まで、91人が受講しています。今年度の基礎研修は、高知新聞社の方を講師に迎え、本の紹介新聞を作りました。テーマ・内容・見出しを決め、イラストや写真を交えながら、新聞の紙面作りを体験しました。

◆子ども司書紹介

また、本の紹介コミュニケーションシミュレーション・ビブリオバトルを楽しみ、おすすめの本を紹介しました。また本館では、子ども司書おすすめの本のコーナーを設けています。子ども司

書が掲示物を作成し、紹介文も添えていますので、ぜひご覧ください。

◆インターシッパ

高知工科大生がキャリア教育の一環として、本館・香北分館・市内の小学校で実習を行いました。

本館と香北分館では、図書館業務全般(カウンター業務・本の装丁・登録・除籍処理等)を体験しました。

また、学校支援として市内の小学校に出向き、書架の整理や子どもたちとの交流を行いました。

◆「食欲の秋・元気の秋」の本の展示

▽体温を上げると健康になる(齋藤真嗣)▽笑いのちから(角辻豊)▽野菜のパワーまるごと健康レシピ(今泉久美)▽肝臓をいたわるおいしいレシピ(渡辺純夫監修)▽ぐつぐつ(鍛冶恵)

◆祝日も開館しています
土曜・日曜以外に、祝日も開館しています。ぜひご来館ください。

Pick Up

声

アーナルデュル・インドリダソン 著
華やかなホテルの地下室で殺された、地味で孤独なドアマンの秘められた過去。外国文学は、少し苦手という方にも、お薦めの一冊です。



ほんとうに70代は面白い

桐島洋子 著
生きているだけで、人生は面白い。70代後半の著者が、老いること、今の生活を楽しむ生き方などを描く人生エッセイ。前向きに生きてこそ!



ブラック・ベルベット

恩田陸 著
T共和国で見つかった、全身に黒いコケの生えた死体。消息を絶った女性化学者。その2つを結びつけるのは想像をはるかに超えたある事実だった。



吉井勇記念館だより

しろくま楽団ジャズライブ

湘南を中心に、首都圏、信州、関西から四国、中国、九州まで、広く活動しているしろくま楽団によるコンサートを開催します。

演奏はジャズやスタンダード、映画音楽やダンスミュージック、童謡唱歌や歌謡曲など、多彩な音楽をカバー。子どもから大人まで、幅広く楽しめるステージとなっております。

【日時】11月18日(水) 17時30分～19時(開場17時)

【場所】猪野々集会所

※吉井勇記念館隣

【参加費】
一般：1300円
高校生：500円
中学生以下：無料

※当日16時15分から、学芸員による記念館の展示解説を行います(コンサートにお越しの方は、チケットの提示で入館できます)。

【主催】猪野々活性化委員会

【送迎バス】 ※要予約
香美市役所本庁舎前より、JR美良布駅経由で、無料送迎バスを運行します。

行き 15時30分発
帰り 19時15分発
(美良布駅15時50分)
(美良布駅経由本庁舎前)



▲しろくま楽団のメンバー

◆問い合わせ先 吉井勇記念館 ☎58・2220

第9回香美・香南地区短詩型文学振興大会

(9月5日・香南市のいちふれあいセンター)

香美・香南地区文化協会長賞

※掲載している受賞作品は香美市の方の作品のみです。

短歌の部

(選者 岡崎桜雲氏)

特選

みづみづと柿の若葉の地に満てり
わが鬱屈の何ほどならむ

優秀

この場所に学び舎ありしと石ぶみは
木洩れ陽の中にひっそりと立つ

優秀

雪被るヒマラヤ山脈目の前に
日の出は間近みな黙りおり

佳作

五センチに満たぬ段差につまづきて
転ばざりしに胸なで下ろす

佳作

空想の範囲もいつか狭まりて
夜々眼をかばひ眠らむとする

佳作

逃げまどひ石橋下に身をひそめ
守りし命と九十の母は

佳作

わが知るは北極星に七つ星
君は光年のかなた語るに

互選高ポイント賞

滴りの巖を庇の修験堂
少年に追ひつく少女夏の雲

優秀

溪音もいれて山家の夏座敷
風蘭を数多咲かせて老暮らし

優秀

雨をんな雨をとこ来て茅の輪かな
母おとなえは夏萩の戦きおり

佳作

亀鳴くか鳴かぬ亀の子束子かな

俳句の部

(選者 松林朝蒼氏)

優秀

滴りの巖を庇の修験堂

優秀

溪音もいれて山家の夏座敷

佳作

雨をんな雨をとこ来て茅の輪かな

佳作

母おとなえは夏萩の戦きおり

佳作

亀鳴くか鳴かぬ亀の子束子かな

互選高ポイント賞

滴りの巖を庇の修験堂

優秀

溪音もいれて山家の夏座敷

佳作

雨をんな雨をとこ来て茅の輪かな

互選高ポイント賞

亀鳴くか鳴かぬ亀の子束子かな

古川 安子

明石 敬恵

宮地 亀好

公文 正子

小松もとみ

中澤 民江

佐竹 玲子

明石 蕪生

乾 真紀子

大石 邦男

古川 信子

中澤 美晴

前田美智子

野村 里史

地域づくり支援員の

まかせちょ記

はじめまして! 9月から土佐山田町・平山地区という自然豊かな環境で、地域づくり支援員をすることになりました坂本仁と申します。須崎市出身の33歳です。

5月までは10年間、東京で暮らしていました。これまで雑誌のライター、商業施設や商店街などでのイベント運営など、都会ならではの仕事を経験してきました。しかし、年齢を重ねるにつれ「何か地元に貢献したい」「人の役に立てる仕事がしたい」と考えるようになり、ついにはUターン。気が付けば、香美市の地域づくり支援員に応募していました。

地域づくり支援員の主な仕事は集落維持・地域活性化ですが、まずは平山地区に暮らす方々のことを知り、少しでも頼っていただける存在になれるよう頑張りたいと思います。

また地域の多くの方に授けていただけであるう、さまざまな知恵や経験を広げたいけるよう励んでいきます。ご声援のほどよろしくお願い致します。

